

令和２年度 銚子市立豊岡小学校 学校経営方針

1 学校教育目標

「ふるさとを愛し、豊かな心で、主体的に生きる児童の育成」
～ 輝く瞳 温かい心 光る汗 ～

2 具体目標

(1) 目指す子ども像

①ふるさとを愛する子

～自分の生まれ育ったふるさとに誇りを持ち、自信を持って進む子～

本校は地域とのつながりが非常に強く、地域の中で教育・文化の中心となり、地域連携の要ともなっている。また、地域全体が、豊岡の児童のためにという雰囲気があり、児童を温かく見守り、学校の教育活動に対しても大変協力的である。

豊岡の児童には、このような地域の方々の温かさを自覚させるとともに、同じふるさとに育つ子としての絆を深め、ふるさとのすばらしさを見つめ、誇りをもち、「豊岡の子」としての確固たる自信につなげていきたい。そして、地域に感謝する気持ちを持たせ、ふるさとを愛する気持ちを育てていきたい。

②豊かな心をもつ子

～生命や人権を尊重する心、他人を思いやる心を持ち、美しいものに感動できる子～

学級編制がない本校では、児童一人一人の結びつきが強くなる。児童一人一人が安定した心で学校生活を送るためには、それぞれの個性やよさを認め合う関係が不可欠であり、道徳の授業をはじめ、学校生活のあらゆる場で、思いやりの心を育んでいく。

また、全校縦割りの活動を充実させ、異学年との結びつきを強めるとともに、一人一人が主役になれる環境を生かし、学習活動のみならず、学校行事や部活動、かえでプラン等学校生活全般を通して、体験活動の充実を図る中で、感動する心、思いを表現する意欲等を育んでいきたい。

③主体的に生きる子

～自ら学び、よく考え、課題を解決できる子～

グローバル化や人工知能・AIなどの技術革新が急速に進み、予測困難なこれからの時代、子どもたちには自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく力が求められる。子どもたちが様々な経験、体験から得た、基礎的・基本的な知識及び技能を活用し、課題を解決する思考力、判断力、表現力を高める。そして、学んだことを社会や人生に生かそうとする学びに向かう力、人間性などの育成を図る。

(2) 目指す教師像

①教師としての責任と使命を自覚し、一人一人の子どもを大切にする教師

②向上心を持ち、日々の授業を大切にする教師、

③チームの一員として協働し、主体的・積極的に努力する教師

④児童・保護者・地域と誠実に向き合う教師

(3) 目指す学校像

①保護者や地域から信頼される、安全・安心な学校

- ②一人一人の子どもを大切にし、子どもの可能性を引き出し、子どもの可能性を育む学校
- ③明るい笑顔、思いやりのある言葉があふれる学校
- ④地域の教育力を生かす学校

3 経営の基本方針

- (1) 児童一人一人の良さや可能性を見いだし、認め・褒めることを大切にし、個性の伸長を図り、「生きる力」を育む。
- (2) 全職員が学校経営に参画し、機動力ある組織をつくり、学校教育目標の具現化を目指す（チーム豊岡）。
- (3) 全職員が心身ともに健康で、一人一人が責任を持ち効率的に職務を遂行するとともに、協働する学校づくりを推進する。
- (4) 目標を明確にし、学校評価を効果的に活用しながら、短期・長期のPDCAによる学校経営の継続的な改善に努める。
- (5) 積極的に情報を発信し、保護者・地域と連携した魅力あふれる学校づくりを推進する。

4 今年度の重点 ～学校教育目標の具現化に向けて～

(1) 思考力・判断力・表現力の育成

「主体的・対話的で深い学び（習得・活用・探究）」を意識し、思考・判断・表現する場を設定した工夫ある授業展開で、課題の解決に必要な思考力・判断力・表現力の育成に努める。

[目指す子ども像③ 目指す教師像①② 目指す学校像②]

(2) 家庭学習の充実

学校と家庭の連携のもと、家庭学習の習慣化を目指し、児童の実態に合わせた家庭学習の取り組み方及び内容について充実したものとなるように指導し、更なる学力向上を目指す。

[目指す子ども像③ 目指す教師像①④]

(3) 心の教育の推進

道徳の授業の中に、問題解決や体験的な学習などを取り入れ「考え、議論する」授業づくりを目指し、全教育活動を通して道徳的実践力の育成を図る。また、縦割り班の活動を通して、思いやりの心を育て、日常のあらゆる活動の中で、一人一人のよさを相互に認め合う人間関係づくりを進めるとともに、いじめの防止に取り組む。

[目指す子ども像② 目指す教師像④ 目指す学校像②③]

(4) 体験活動の重視

探究的な学習、課題を解決する学習を実施するとともに、行事など学校生活の中で、少人数であることを最大限に生かした様々な体験活動を取り入れ、何事にも意欲的かつ主体的に取り組む姿勢を育てる。

[目指す子ども像①②③ 目指す教師像① 目指す学校像②④]

(5) 読書活動の充実

読書が新しい時代に必要となる資質・能力を育むことができることから、読書の機会を多く設け、学校図書館司書とも連携して、日常的に読書に親しむ環境を整備し、読書推進のための取組を工夫し、読書への意欲を高め、読書の習慣化を図る。

[目指す子ども像②③]

(6) 家庭及び地域との積極的な連携

学校だより、学級だより及びホームページ等により、本校の教育活動の情報発信に努め、保護者や地域との連携を深める。また、総合的な学習や食育の授業等では、地域の教育資源を生かし、児童がふるさとに誇りと愛着を持ち、積極的に地域の人々と関わろうとする態度を育てる。

[目指す子ども像① 目指す教師像④ 目指す学校像④]

(7) 安全・安心な教育環境の整備と堅持

「リスクマネジメント」と「クライシスマネジメント」を常に意識するとともに、報告・連絡・相談の徹底と迅速な対応に努める。また、日常の校舎点検等を確実にを行い、児童の安全な学校生活の保障に努める。

[目指す学校像①]

(8) 新学習指導要領への対応

「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力など」「学びに向かう力、人間性など」の3つの柱からなる「資質・能力」を総合的にバランスよく育むための授業の研修を進める。

[目指す教師像②③]

キーワード

チーム豊岡

ONE FOR ALL, ALL FOR ONE ONEとは・・・